

会議録

会議の名称	平成29年度第2回西東京市総合計画策定審議会
開催日時	平成29年11月6日（月）午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎3階庁議室
出席者	池田正幸委員、大河内一紀委員、菊地原美和委員、小林正和委員、長島剛委員、中村桂子委員、則武智委員、水谷俊博委員、安田賢憲委員、山本泰嗣委員、米森修一委員、和田清美会長（50音順） 事務局：古厩企画部参与兼企画政策課長、柳沢企画部主幹、佐野企画政策課課長補佐、神保企画政策課主査、高橋企画政策課主任、浅水企画政策課主事
議題	開会 1. 基礎調査報告について 2. 第2次総合計画（後期基本計画）の総論について 3. その他
会議資料の名称	(1) 西東京市の人口推計調査の報告 (2) 西東京市第2次総合計画（後期基本計画）基礎調査報告書～社会経済分析～ (3) 平成29年度 市民意識調査の結果概要について (4-1) 平成29年度 施策評価結果概要について (4-2) 平成29年度 施策評価結果（施策実施方針ごと） (4-3) 施策成果指標の推移 (5) 後期基本計画（総論）案について (6) 後期基本計画（総論）案
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><u>開会</u> 市長あいさつ 則武委員の自己紹介</p> <p><u>議題1 基礎調査報告について</u> ○事務局： 本日の議題の1つといたしまして、この間、実施してまいりました各種基礎調査につきまして、3点、ご報告させていただきたいと思えます。 本日につきましては、1点目の人口推計、2点目の社会経済分析、3点目の市民意識調査及び施策評価につきまして、概要を説明させていただきます。</p> <p>事務局より資料1に沿って説明 ○和田会長： ただいまの事務局の説明について、何か質問等ありますか。 (意見なし)</p>	

事務局より資料2に沿って説明

○和田会長：

ただいまの事務局の説明について、何か質問等ありますか。

○H委員：

資料2の25ページ「社会経済情勢が本市のまちづくりに及ぼす影響」について、図表の見方の確認をさせてください。図表では、まちづくりの6つの方向性を中心に、社会経済情勢に関するキーワードと想定される影響を左右に分けて配置する形になっていますが、分けた意図はあるのでしょうか。

○事務局：

紙面のレイアウトの関係上、左右に分かれているもので、意図はありません。

○E委員：

まちづくりの6つの方向性と想定される影響のつながりの部分に数字が記載されていますが、これはあくまで結びつきの数を示しているものということでしょうか。想定される影響については、影響の程度が様々ですので、単に結びつきの数が多いから重要ということではないかと思えます。

○事務局：

数字は結びつきの数を示しているものであり、ご指摘のとおり、重要度と直結するものではありません。結びつきの数が多いものについては、想定される影響の範囲が広いというようにお考えいただければと思います。

○C委員：

東京都や多摩地域の動向については、報告書のどの部分でまとめる想定でしょうか。

○事務局：

東京都や多摩地域の動向については、第3章で分野別に西東京市の動向をまとめる際に、あわせて記載する予定です。

○C委員：

西東京市は、「『健康』応援都市」の実現を目標に掲げられているので、第1章の段階で、医療・健康に関わる国の動向にも触れておいたほうがよいのではないかと思います。

○和田会長：

西東京市の現状を踏まえ、施策を検討する上では、医療・福祉分野の法制度等も変わってきていますので、必要な情報になるかと思えます。C委員からのご意見については、引き続き調査をされる中で、反映を検討してください。

○F委員：

全国的な社会経済情勢がまちづくりの6つの方向性に及ぼす影響について、キーワー

ドの挙げ方など、分析の観点がありましたら教えてください。また、キーワードの中に「AI等の技術革新」とありますが、分析の観点によっては、想定される影響として挙げるものが変わってくるのではないかと思います。例えば、AIの普及によって教育の手法が変わるといったことも考えられるのではないのでしょうか。

○事務局：

キーワードについては、全国的な社会経済情勢を調査した上で、一般的に基礎自治体に影響があるものに加え、西東京市のまちづくりの方向性に影響があるものという観点から抽出しています。ただし、本日お示ししている結果は事務局案であり、これをたたき台として、不足している観点などについて、委員の皆様からご意見をいただいた上で、ブラッシュアップしたいと考えています。

○I委員：

キーワード、想定される影響、まちづくりの6つの方向性の関係づけは、クラスター分析等の手法を用いているのでしょうか。

○事務局：

まちづくりの6つの方向性がそれぞれ結びついている施策分野を軸に、紐付けを行っています。例えば、「笑顔で暮らすまちづくり」は主に福祉分野の施策の方向性になるため、医療・介護、社会保障制度等に関する影響と紐付けをしています。

今回は後期基本計画の策定であるため、前期基本計画のまちづくりの6つの方向性を大きく変えるというより、これを基軸として、施策体系をどのように見直していくかという議論が中心になるものと考えています。まずは事務局として、全国的な社会経済情勢の資料・データを踏まえ、キーワードや想定される影響を、施策体系の見直しを視野に入れて整理したイメージが、本日の資料とお考えいただければと思います。委員の皆様からご指摘いただいている観点や不足事項につきましても、今後、議論を深めていきたいと考えています。

○D委員：

24ページの持続可能な開発目標（SDGs）については、国というより、世界共通の目標なので、そのように修正をお願いします。

25ページのキーワード、想定される影響、まちづくりの6つの方向性の関係づけについては、例えば、「公園等の公共空間利用」であれば、健康づくりや子育て等、現在示されている「環境にやさしいまちづくり」以外にも幅広く関わってくると考えられます。議論をしていくと、結局は全ての方向性に紐付いてしまうということもあり得るため、整理の考え方について統一見解をもった上で、まとめていくとよいのではないのでしょうか。

○F委員：

25ページで、生産緑地制度の指定解除に伴う対応を挙げられていますが、今後、指定解除により生産緑地が宅地化された場合の人口への影響という点は考えられているのでしょうか。

○事務局：

今回の人口推計では、生産緑地制度の解除に伴うマンション開発等による人口増加は見込んでいません。ただし、局所的な大規模住宅開発として、今後2年間見込まれているものについては、過去5年間の移動率に基づく推計結果に上乗せする形で推計人口を出しています。今後の住宅開発については、ひばりが丘団地のような局所的かつ大規模に起こるものというよりは、農地の一部宅地化も含め、一般的な住宅都市としての住宅開発レベルのものではないかと思込んでいます。また、そのような一般的な住宅開発に伴う人口移動については、上乗せをするという形ではなく、今後、人口推計調査を行う際に、実績として移動率に反映されていくものと考えています。

○C委員：

9ページの都市インフラについて、コンパクトシティはどちらかというところと地方都市に当てはまるテーマかと思しますので、西東京市の場合は、多摩地域の鉄道交通網等についてまとめたほうが、市民にとってもイメージしやすいのではないのでしょうか。焦点を当てる鉄道網についても、東京都の「多摩の振興プラン」に挙げられている多摩モノレールというよりは、埼玉方面とつながる西武線や都心との関係性にしたほうがよいのではないかと思います。西東京市としての戦略の立て方にもよるとは思いますが、地理的に離れている多摩モノレールの整備がどれだけ影響するのかという疑問はあります。

○事務局：

社会経済情勢の分析としては、市に直接的に関わらないものも含めて、各分野でどのような動きがあるかということを取りまとめています。ご指摘いただいたとおり、西東京市の施策の見直しにあたっては、今後、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえながら、検討が必要な影響を整理していきたいと思ひます。

○和田会長：

資料2の第1章の取り扱いとしては、後期基本計画に掲載するというよりは、第2章、第3章の分析に活用するということでしょうか。

○事務局：

今回は基本構想の下に位置づけられている基本計画の見直しであり、大きく方向性を変えるというよりは、現在のまちづくりの方向性の中で、社会経済情勢や西東京市の施策の取組状況等に応じて、今後の施策を見直すことが主眼となります。本日は、まずは主に国レベルでの社会経済情勢の変化を踏まえ、西東京市のまちづくりの方向性にどのような影響が想定されるかという案を整理させていただいています。今後、東京都や西東京市のよりミクロな動向を把握した上で、今後の課題等を整理し、施策の見直しに反映できればと考えています。

資料2につきましては、後期基本計画に掲載するというより、検討素材としてお考えください。

○D委員：

検討素材ということでしたら、想定される影響とまちづくりの方向性を無理に結びつけて示す必要はないかと思ひます。社会経済情勢が変化する中で、キーワードを捉え、

そこから想定される影響を導き出すということは必要かと思いますが、検討素材としては、この2つの関係性までで十分ではないでしょうか。

○H委員：

まちづくりの方向性と結びつけるというよりは、キーワードを資料中のどの部分から抽出しているかという点を示していただけると、検討すべき事項の背景がよりわかりやすいのではないのでしょうか。

○和田会長：

事務局においては、各委員からのご意見を踏まえて、引き続き検討をお願いします。

事務局より資料3～6に沿って説明

○和田会長：

ただいまの事務局の説明について、何か質問等ありますか。

○H委員：

市民意識調査について、経年でデータを取り、指標の1つとして活用するという点はよいと思いますが、回答者による主観の影響が気になります。例えば、交通の利便性について、市内でも比較的利便性の高い地域に住んでいる方とそうでない方の感じ方は異なります。また、子育て支援の満足度についても、何をもちいて満足と回答するかは回答者によって様々ではないのでしょうか。今後は、回答者になるべく客観的に回答できるよう、判断材料としての指標やデータを具体的に示した上で調査を行ってはどうでしょうか。

○B委員：

施策評価について、子育て支援が拡充となっていますが、何をもちいて拡充としているのでしょうか。指標としている待機児童数を減らすことが拡充であれば、単に施設を新設するという話になってしまうのかと思います。拡充する方向性をより詳細に示していただいた方がよいのではないかと思います。

○I委員：

市民意識調査の満足度・重要度について、主観によるところのデータとしてのあいまいさは私も感じています。回答者の年齢や居住地によって傾向が変わってくる部分もあるかと思うので、クロス集計をご提示いただくとよいのではないのでしょうか。

○A委員：

商工会としては、買い物の利便性についての意向が気になっています。不便と回答されている方には高齢者が多いと考えられますので、クロス集計結果でも確認できればと思います。

○事務局：

本日は概要版として全体集計のみご提示していますが、男女別、年齢別等のクロス集計も行った上で、報告書を取りまとめていますので、あらためてご報告します。

議論2 第2次総合計画（後期基本計画）の総論について

事務局より資料5及び6に沿って説明

○和田会長：

ただいまの事務局の説明について、何か質問等ありますか。

○D委員：

資料6の「3. 計画の指標」の構成は人口の推移と財政フレームの2つとなっており、この2点は確かに重要だと思いますが、その他の指標についてはどのように考えているのでしょうか。

「4. これまでの取組と評価」で成果指標の達成度を掲載するとなっていますが、成果指標とは具体的にどのようなものを想定しているのでしょうか。

また、「6. 計画を推進するために」において、「『健康』応援都市」の実現に向けた視点として示されている内容は非常に重要なことだと思います。ただ、後期基本計画に盛り込む新しい考え方としての示し方、これまでの考え方との関連性などについてどのように考えていますでしょうか。

○事務局：

計画の指標は、前期基本計画で掲げている人口の推移と財政フレームの2点を踏襲する形を考えております。その他の指標につきましては、「これまでの取組と評価」の部分で、成果指標の達成状況や市民意識調査結果から満足度を示すことを想定しています。

「『健康』応援都市」については、ご指摘いただいたように、今回新たに盛り込む考え方になりますので、後期基本計画に盛り込む背景など示すべき情報は、今後精査できればと思います。

○D委員：

西東京市で既に策定されている「健康づくり推進プラン」なども踏まえながら、「『健康』応援都市」に関わる指標については、市民にもわかりやすいものを設定するのがよいと思います。

○和田会長：

基礎調査の結果がどのように活かされるのかという点については、再整理をお願いします。

○F委員：

財政フレームについては、今後分析する予定とのことですが、分析結果の反映についてはどのようにお考えでしょうか。重点事業を検討する際に反映するため、施策検討の段階では、あまり考慮しなくてもよいということでしょうか。

○事務局：

これまでの計画策定においては、財政フレームの中でどう分配していくかという流れではなく、施策をどのように展開していくかという方向性を踏まえて財政フレームを構築するという流れで検討しており、今回もそのような形を想定しています。

○C委員：

資料6の「6. 計画を推進するために」の4つの考え方について、行財政改革やエリア設定の再構築についても、前期基本計画から大きく見直しをした点になるので、見直しの背景にあるデータを示しておいたほうがわかりやすいのではないのでしょうか。

また、みんなで作るまちづくりの推進について、施策評価では、「み1-1市民主体のまちづくりの推進」と「み1-2協働のまちづくり」はともに現状維持という評価結果になっています。計画を推進するための柱とする上で、今後も市民との連携を図っていくという方向性であれば、施策評価の方向性も拡充でないと整合性がとれないのではないかと思います。

人口がまだ増加しており、新たな住民が地域に入ってきている中で、「協働」というテーマは重要と考えられます。ただ、現状として協働のまちづくりに向けた動きが弱いことは事実であり、新たな取組も必要ではというのが率直に感じているところです。

○事務局：

施策評価結果は、市民意識調査の満足度・重要度の結果から判定されるものであるため、この結果を見直すということではなく、「施策評価結果は現状維持となっているものの、市民活動の現状や施策についての新たな視点等を踏まえると、取組は拡充していくべき」というようなご意見も含め、今後の施策・事業について、この審議会で総合的に検討できればと考えています。

○D委員：

資料4-3の施策成果指標の推移について、平成29年度に満足度が向上している要因として考えられるものはありますか。

○事務局：

施策成果指標の満足度は、それぞれ市民意識調査の満足度評価の結果を用いています。ただし、市民意識調査は毎年実施するものではないため、平成28年度については、平成27年度調査の結果を用いており、そのため、平成29年度に数値が大きく変わっているように見えているものと思います。市民意識調査では、満足と回答した理由までは設問で尋ねていないため、満足度評価の要因までの把握は困難ですが、結果としては、今回調査では前回調査に比べて全体的に満足度が向上しているということです。

○H委員：

次回の市民意識調査はいつ実施する予定でしょうか。

○事務局：

次回は後期基本計画が始まってから3年後を想定していますので、平成33年度になるかと思っています。

○H委員：

次回調査においては、回答者がなるべく客観的に回答できるよう、西東京市の取組内容など、判断材料となるデータをあわせて示したほうがよいと思います。

○I委員：

計画を推進するための4つの考え方と、拡充・現状維持等の施策の方向性との関係性については、どのように考えたらよいでしょうか。

○事務局：

計画を推進するための4つの考え方は、施策横断的なものであり、各施策の方向性がそれぞれあった上で、施策を進める際の考え方として取り入れていくものという位置づけを想定しています。各施策の方向性については、今後検討する各論で示していく予定です。

○G委員：

市民意識調査の満足度は施策ごとにそれぞれ尋ねる形になっているのでしょうか。また、満足度の結果として高・中・低と示されていますが、何に基づいて判定されているのでしょうか。

○事務局：

満足度・重要度については、施策分野ごとに項目を設けて、それぞれ5段階評価で回答いただく形としています。高・中・低の判定については、評価の段階に満足は2点、やや満足は1点というように点数をつけて、各段階の回答者数に基づいて項目別にポイントを算出するという方式をとっており、全項目のポイントの中での相対評価結果ということです。

○G委員：

評価項目は平成19年度調査から変わっていないということでしょうか。

○事務局：

文言等の修正はありますが、基本的には変わっていません。今後の調査においては、調査票の紙面の制約等もありますが、満足度を判断いただく材料となる情報をあわせて掲載するという点についても検討したいと考えています。

○E委員：

後期基本計画の期間中のインパクトとしては、東京オリンピック・パラリンピック競技大会があるかと思いますが、計画を進める上での考え方として取り入れる必要はないでしょうか。

○事務局：

社会経済情勢としては、東京オリンピック・パラリンピック競技大会については、かなりインパクトのあるものとして見据えており、スポーツという観点だけでなく、教育や人権・平和等様々な分野に影響するものと捉えています。現時点の事務局案として、計画全体を進めるための考え方として大きく打ち出してはならないというところです。

○E委員：

西東京市が東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、具体的に取り組むす

るということであれば、その情報を共有いただけると、検討しやすいと思います。

○事務局：

今後、情報共有させていただきます。

議論3 その他

○事務局：

次回の第3回審議会は、平成30年1月31日（水曜日）の午後に予定しています。正式には後日、事務局から通知いたします。

○和田会長：

その他、委員の皆様から何かありますでしょうか。

○各委員：

（意見なし）

○和田会長：

それでは、これをもちまして、第2回審議会を終わらせていただきます。皆様ありがとうございました。

（閉会）